

E70 meeting 20230113

参加者

永江、後神、七村、原田、江端、高橋

報告・議論

- 現場作業
 - 昨日のS-2S mtgの通り
- 予算使用
 - 永江新学術 残り：75万円（2023/1/5時点）
 - 原田科研費 残り：15万円
 - 今必要な分：58.5万円
 - AFTinner補強材：5万円
 - AFT FE_PC：～10万円
 - AFT LED：0.5万円
 - AFT ケーブルラダー（アルミフレーム）：3万円
 - BAC取り付け板：1万円
 - SDC2 LV-（16V）：7万円
 - PMX18-5A（山本さんと相談して、こちらで良いという話になった）
 - monotaro：7万円
 - PAN16-10A（こちらは買わない）
 - monotaro：129,000円、5日以内出荷（<https://www.monotaro.com/g/04029294/?t.q=kikusui%20電源%2016V>）
 - 菊水：121,000円（<https://kikusui.co.jp/w2-2/dc-power-supply/pan-a/pan-a/>）
 - IP POWER：3万円
 - TOFアテニューエーター：計17.5万円
 - パネル：0.5万円
 - コネクタ：16万円
 - 抵抗：1万円
 - 江端修論旅費：10万円
 - 七村公聴会旅費：3.5万円
 - 江端修論
 - 理想的な実験セットアップモデルで学習した機械学習モデルを、（より）現実的な実験セットアップモデルでBeam Through、Elementary processで得られるデータをもとに修正することでMM分解能が $\pi \cdot \Sigma$ ピークの位置・幅がどれだけ改善できるか検証した。さらに三核の位置・幅を評価した。
 - 後神 study
 - Geant4シミュレーションデータをもとに、輸送行列で運動量を再構成し、運動量分解能がどれだけ高められるか検証した
 - 特にQ1Q2強度を調整した際に、運動量分解能がどう変化するか調べた
 - 結果、Q1Q2を各種変更しても運動量分解能の変化に傾向が見られない
 - Geant4シミュレーションデータ、特にTOSCA磁場モデルが“粗い”のが原因ではないかと考える

- Geant4 モデルで WC のあたりに置かれている物質量が多いように見える → 修正が必要

予定

E70 mtg : 1/19 (木) 18:00~

高橋出張 : 1/17~1/25 (移動含む)